

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第 79 回

『「21 世紀の医療の扉を開く」 ～ 人をその気にする技術 ～』

2021 年 10 月 16 日、筆者が理事長を務める『日本 Medical Village 学会』の第 4 回大会（大会長：柴田浩行 秋田大学教授）に Zoom で参画した。全国から多数の参加者であった。早速、「とても美しい学会でした。—— 出来る事からネットワークを構築して世界を変えていけますね。樋野先生の人をその気にする技術、学んで実践していきたいと思います。」、『秋田県内、全国での取り組みを知ることができました。最後に柴田先生が「樋野先生が蒔いた種を全国に広げていくことが大事」と仰っていたことに共感しました。』との心温まる励ましのメッセージが神奈川県、青森県から届いた。

『日本 Medical Village 学会』は、新渡戸記念中野総合病院の HP で紹介されている。「概要」に、[『日本 Medical Village 学会』設立の目的は、患者さんが最期まで安心して暮らすことが出来る場所 (Medical Village) を地域に創ることです。Medical Village とは、患者さんを癒すことのできる村です。患者さん本人だけでなく、本人に関わる家族や友人や、本人を支援する医療や介護の従事者にとっても安心できる場所になることを目標にします。]と謳われている。

「医療介護を支えるチーム」&「生活を支えるチーム」&「人生の旅立ちを支えるチーム」が「多職種との連携」であろう。『日本地域連携システム学会』と連携して構築を進めて行くことを想定している。新渡戸記念中野総合病院の HP には、『日本地域連携システム学会』も紹介されている。2021 年 10 月 16 日「南カリフォルニア メディカルカフェ」代表：石嶋まりこ 氏からチラシが送られて来た（画像）。大いに感動した。まさに、「21 世紀の医療の扉を開く」の時代的到達ではなからうか！

第4回オンラインお茶会

MEDICAL CAFE

南カリフォルニア

SOCALMEDICALCAFE@GMAIL.COM

アメリカに暮らす日本語を母国語とするがん患者さんやご家族が、日本語で心置きなくおしゃべりできる「お茶会」を開いています。がん患者さんを支える医療関係者やメンターの方のご参加も大歓迎です。

アメリカ西海岸 10月23日（土）午後1時

アメリカ東海岸 10月23日（土）午後4時

日本 10月24日（日）朝5時

（日本の皆さん早くてゴメンね～！）

ZOOM開催

詳細は上記EMAILまで！